

キラリ 熱中時間

深谷市にゆかりがあり、市内外で活躍する個人や団体を紹介します。

栄一翁の思いや生き様を現代につなぐ



渋沢栄一そっくりさん

むかいまさよし
向井正義さん

ぬまじりよしじ うがひで お
沼尻芳治さん 鵜養秀男さん

栄一翁の姿で
全国へ深谷をPR

シルクハットとモーニングを身にまとい、片手にステッキを携え、まるで洋装姿の渋沢栄一翁をほうふつとさせるいでたちで、さまざまなイベントに出席するのは『渋沢栄一そっくりさん』のお三方です。

2年前に栄一翁が新紙幣の肖像に決定した直後に開催した『そっくりさんコンテスト』で一躍有名になり、栄一翁の姿で栄一翁や深谷市を全国にPRしてきました。印象に残った出来事を鵜養さんに伺うと、「県内外から多くの人々が深谷に来た、新紙幣決定直後のゴールデンウィークですね。来た人から写真を撮りたいと頼まれた時は、最初は恥ずかしかったけれど慣れると良い気分が変わってくるんですよ。」と笑顔で教えてくださいました。



▲深谷大河ドラマ館に設置された深谷駅舎バックパネル前で記念撮影。深谷大河ドラマ館の開館と閉館イベントのどちらにもPRのために駆け付けてくれました。

また、トレードマークの衣装について沼尻さんは、「実は私だけネクタイが違います。これは、2人とは違う時代の栄一翁を再現していて、写真やドラマを参考に似たものをあえて探したんです。」と栄一翁の姿を忠実に再現した衣装へのこだわりを話してくれました。

今後について向井さんは、「大河ドラマは終わりましたが、栄一翁の場合はこれで終わりではなく、次に新紙幣の発行があります。この盛り上がりや次にどうつなげていくか、私達3人の役目もまだまだ大きいなと思っています。」と熱い思いを語ってくれました。栄一翁の思いや生き様を栄一翁の姿で表現して現代につなぐそっくりさん。栄一翁をきっかけに全国から集まった注目を生かし、さらに深谷の機運を盛り上げます。

『農業』で

深谷を元気に!

深谷市では、『儲かる農業都市ふかや』の実現を目指し、『農業』を核とした産業のブランディングを進めています。お問い合わせ/産業ブランド推進室 ☎577 - 3819
産業ブランド推進室 | 検索

2月28日(月)まで開催中!

深谷の絶品グルメを堪能!『深谷ねぎデジタルスタンプラリー』

野菜を楽しめるまち『ベジタブルテーマパークふかや』では、『深谷ねぎデジタルスタンプラリー』を開催中です。

スマートフォンでスタンプを集めて、市内の深谷ねぎグルメを堪能し、さらに豪華景品がもらえるチャンスです。デジタルスタンプラリーの開催期間も残り1カ月!まだまだ、間に合います。ぜひ、スマートフォンを片手にスタンプを集めて参加しませんか?



右のQRコードからエントリー!このQRコードを読み込むとスタンプを1個プレゼント!



参加方法

ダウンロード不要のWEBアプリのQRコード(上記)を読み込み、エントリー!

VEGE-1グランプリ参加店舗で対象メニューを注文または対象店舗などで買物し、スタンプ用のQRコードを読み込む

スタンプを集めてスマートフォンで抽選に参加

抽選でステキな景品をゲット!!

ふっかちゃんの日常から深谷が見えてくる

ふっか散歩

道の駅おかべ②



『道の駅おかべ』第2弾!道の駅おかべには、令和3年3月に深谷の農産物を味わえる『NOLA深谷のめぐみ食堂』ができたんだよ。その他にも、深谷自慢の花や農産物など魅力がいっぱい!早速行ってみよう~と♪



◀ここは、深谷の野菜や肉、米、地酒などが味わえる『NOLA深谷のめぐみ食堂』だよ。ピザ窯で焼き上げるピザは、熱々で絶品!深谷の郷土料理『煮ぼうとう』もいろいろなバリエーションがあっておいしそうだね~♪

ふっかちゃんのつぶやき

深谷市シティプロモーションロゴマークを使ってくれる事業者さんを引き続き募集集中!詳しくは市ホームページをチェック!



◀『農産物直売センター』に来てみたよ。ここは、毎朝収穫したての新鮮な地元野菜や、花、農産物などが売っているよ。今が旬の深谷ねぎも、ここでゲットできるね~!

心の広場

明戸小学校3年 根岸 鈴花さん



やさしい言葉

一年生の入学式の日。わたしはきんちょうして、はじめての友だちに声をかけられませんでした。いすにすわってまっている時となりの子に、
「ねえ、お友だちになろうよ。」
と言われて、わたしの心はあたたかくなりました。
「うん。よろしくね。」
とわたしはゆう気を出して言いました。そして、名前を言って、なかよくなりました。となりの子はAちゃんです。しゃべっているときんちょうもなくなって校長先生の話を聞いた後もずっとおしゃべりをして、わらっていました。Aちゃんはとてもおもしろくて、やさしかったです。わたしがころんできましたときも、
「だいじょうぶ。けがしてない。」
とやさしく声をかけてくれました。二年生の時けんかをしてしまった時も、Aちゃんが先に、

「ごめんね。」
とあやまってくれました。わたしも、
「わたしこそ、ごめんね。」
と言って、休み時間にAちゃんとしてつぼうであそびました。二人でわざを見せ合いっこをして、わたしがやっているときにAちゃんが、
「えっ、そんなことできるのすごい。」
とってくれました。Aちゃんのわざを見てやろうとしたら、できませんでした。でも、Aちゃんが
「おいしい。あとちょっと。」
とってくれました。そして、Aちゃんのおかげでできました。そして、わたしは、
「ありがとう。Aちゃん。」
と言いました。そのときAちゃんの顔は、ものすごくニコニコでした。わたしは、Aちゃんのえがおを見てうれしくなりました。わたしは、Aちゃんをものすごくそんけいしています。Aちゃんはんせいする心をもっていて、人の心をあたたかくする言葉を使うことができるやさしい子です。わたしは、今でも入学式のことをおぼえています。わたしもAちゃんのように、やさしい子になりたいです。そして、クラス全員の子ともしっかりしゃべってなかよくなりたいです。

【お詫びと訂正】1月号の『心の広場』掲載者(田村香乃さん)の学年表記に誤りがありました。正しくは下記のとおりです。お詫びして訂正します。
誤: 横沢小学校4年(現5年) 正: 横沢小学校4年